

教育・保育理念
 ・自分も友だちも大切に作る心の育成・学びの芽の育成・自分の可能性や能力の発揮

令和6年度重点目標
 ・感じる力、聴く力、話す力、を育てる
 ・こどもが安心でき、自分らしさの大切にされる環境を作る
 ・こどもを真ん中に地域や保護者、各機関や施設と連携し、学びと育ちにつなげる

園の重点項目
 一人一人を大切に、こどもが安心して過ごし豊かな育ちと学びを通して自己肯定感や主体性を育む

重点目標	重点目標に向けた具体策	評価項目	自己評価	こども園関係者評価	
感じる力・育てる力・聴く力・話す力を	大人との関係の中で、様々な感情を共有し、受け入れられる喜び、伝わる嬉しさを経験し安心感を持てるようにする	・大人との関わりで愛着関係を築くことを土台に園児との関わりを育てる ・友だちとあそぶ楽しさをたくさん経験し、良いところを見つける ・自分の思いをだし、相手の思いもきいて友だちの中で認め合う経験を重ねる	A	今年度の重要課題として、取り組んできました。こどもとの対話をするにはまず大人の対話力を高める必要がある必要性を感じて、様々な機会を通じてこどもとの出来事や保育教諭の思いを主任、副園長、同僚と話し合う機会をつくってきました。その結果、4、5歳クラスではこども同士でグループの名前を決めたり、遊びを考えたりする姿がたくさん見られました。2、3歳クラスでは個人差はありますが、自分の言葉を友だちや大人に聞いてもらう経験を重ね、伝えることに楽しさや喜びを感じられるようになっています。0、1歳クラスは言葉を獲得する過程として言葉に表情や仕草を受け止め、発語の土壌を豊かにすることができました。	A
	保育教諭が豊かに言葉で子どもと対話し、感じたこと、思ったことを伝えることが楽しいと思えるようにする	・主体的に活動できる教育・保育を展開し、園児ひとりひとりが「みたい」「しりたい」「やってみよう」と心を動かして生活や遊びができていくか。教育・保育の過程を保護者に伝える工夫をし、保護者と連携して園児の育ちにつなげることができているか。 ・こども園や家庭で会話につながるような活動に取り組み、保護者にむけて情報を発信する	B		A
	年齢に応じて、大人や子どもと話し合う機会をもつ	・子ども一人ひとりの発達を考慮し、子どもが主体となって話せる環境を整える。5歳の	A		A
大き、子どもが安心して生活できる環境を作る	心の健康と体力の向上を図り、しなやかな心と身体を育てる。	・安全に配慮し、体を動かして遊びたいような環境を作り、友だちと一緒に遊ぶ楽しい活動を、育ちのつながりを見通して、計画的に継続し、園児が主体的に取り組めるようにすることで、しなやかな心と体を育てることができているか。 ・ヒヤリハットを見つける取り組みを重ね、過去の事故事例から学んで情報共有をし、安全教育に取り組むことで、大きな事故を防ぐことができているか。 ・園児が危険に気づき、プレーキをかけた後危険を避ける力を身につけているか。	A	A	
	健康で安全に生活することができるように安全教育をし、環境を整える。		A		
連携し、子どもを育む、各機関や地域と関係する	教育・保育の中で学びの芽を育てていく。	・0歳から大人との愛着関係を育てることを土台に、就学までの6年間を見通して、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を意識しながら、各年齢の生活やあそびの場面で、園児の行動や言葉の中に学びの芽が見つけれらるか。 ・小学校の児童との交流・ふれあいの機会を持っているか。 ・発達過程に応じ、個人差に配慮しながら発達を保障し、園の育ちと学校の学びをつないでいるか。	A	A	
	園の育ちと小学校の学びがにつながるようにしていく。		B		
	地域とともに地域の中で育つ。	・地域とかかわる小さなきっかけも大事にしてつながりを深められているか。 ・地域の行事に、園児と職員が参加し、地域との交流を持つことができたか。	B		
園に設けられた施設や地域	子育て支援の拠点としてつながりを深める。	・地域親子や家庭的保育室などに遊び場所の提供をし、交流を図ることができているか。 ・地域に向けた子育て支援事業の内容でつながりを深めることができているか。	A	A	
	職員がチームとして連携してこども園運営をする。	・教育・保育理念や方針、教育・保育課程や年間計画について職員同士が共通理解し、ねらいを明確に実践を楽しく展開することができているか。 ・園児のこと、教育・保育のことをよく話し合い、各職種とも職員間の連携をよくし、園児へのかかわりに活かすことができているか。	A	A	

今後の取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
架け橋期プログラムを通した、学びの芽の育成	本格施行に向けたワーキンググループへの参加
人材育成を通した保育の質の向上	園内研修や各種研修の実施

園長より
 今年度は「地域と関わり」と「感じる、聴く、話す」に力を入れて教育保育に取り組んできました。地域との関りでは、小学校1年生との交流や近隣のスーパーへ見学、子育て広場へのこどもたちの参加など、園庭開放や散歩以外の地域の中での活動に取り組むことができました。こどもが地域のことに興味を持ち、地域の中で育っていくことを実感できる機会となりました。今後もいろいろな形で地域とのつながりや活動を広げ強いものにしていきたいと考えています。「感じる、聴く、話す」という力について、全年齢「感じる」ことができるようにいろいろな内容の教育・保育を実践してきました。たくさん経験の中で感じたことを聴いたり話す機会を多く持つことができました。